

中部地区路面電車サミット金沢大会 報告書

- 開催日： 平成 30 年 9 月 29 日（土）
14：00～講演会 15：40～全体会議・意見交換会 17：00～交流会
9 月 30 日（日）09：00～オプションルツアー
- 場 所： 金沢歌劇座 3F 大練習室にて（2F 大集会室より変更）
- 出席者： 中部地区路面電車愛好支援団体より 62 名（当会含む）
金沢都市圏新交通導入議員連盟より 27 名
一般より（学生・記者含む） 36 名 計 125 名
- 趣旨目的 路面電車の愛好支援団体が集まり、開催地を見学。
各々の活動について報告・情報交換すると共に、相互の親睦を深める。
- 収支報告 別紙参照
- 概要報告 講演会「宇都宮の LRTーこれまでとこれからー」 125 名参加
宇都宮大学名誉教授 古池弘隆氏
（概略）宇都宮では LRT の構想が出てから着工に至るまで長い年月を要した。特に政治の動きに翻弄された。首長選のたびに栃木県と宇都宮市の「ねじれ」が問題になった。国政での政権交代の影響も受けた。しかし、現市長の政治決断によってようやく計画が動き出し、副市長に国交省の有能な官僚を招き、一気に加速していく。交通事業者も協力的になり、マスコミの反対も鎮まり、ついに国から「認定」された。しかしなお反対派の声も小さくなく（特に高齢者）、さらなる市民への説明が必要だ。鍵を握るのはやはり首長のリーダーシップである。
- 中部地区路面電車サミット 全体会議 58 名 + α 参加
（平行開催：小池先生他専門家と議連の意見交換会）
（概略）各団体のこの 1 年の活動を報告。中部地区の団体に加え、関西の KOALA、日本橋にトラムを通してにぎわいを進める会のほか、地元の明日の金沢の交通を考える市民会議、NPO 法人市民環境プロジェクトからも報告してもらった。
※参加団体については別紙参照
- 交流会（カフェアルコプレーゴにて） 72 人参加
講師の古池先生、専門家の先生、地元議員、サミット団体を交えた交流会。高橋涼子さんミニライブも開催。当日申込みで一般からも参加者があり、賑やかな集まりとなった。台風の計画運休の影響で、途中退席する参加者も多かった。有志で二次会・三次会あり。
- オプションルツアー（金沢駅もてなしドーム地下～金沢駅周辺） 9 人参加
（概略）LRT が金沢駅をどう通過するかについて、複数の候補を事前に示し、実際に歩いてメリット、デメリットを検討した。



講演会。満員の会場



講師の古池先生



サミット本会議の様子



各団体が、活動・近況について報告



交流会にて、鉄ちゃん姿の高橋涼子さん。萌える！



RACDA 高岡 島さんよりご挨拶



←翌日のオプションツアーにて